

見ないので本実験を行なった。

研究の方法

透過率測定に用いた試布は木綿他数 10種類で、殺菌線応用に用いた試布はブロード他数種類、供試菌はカビ、細菌、酵母、放線菌の中から数種類ずつ。試験方法：滅菌した 5 cm 角試布（細菌用は 1.5 cm 円型）を、供試菌の懸濁液に浸漬して、菌を付着させ、ペトリ皿に入れて、殺菌灯で照射した後、細菌用試布はブイヨン液体培地に入れ、その他の試布はそれぞれの平板寒天培地上に接布して培養した。照射に当っては、試布は一枚のものと、数枚重ねたものを用い、培養はいずれも一枚単独に行なった。細菌は濁度により、その他はコロニー数により対照に比較して生残率を求めた。

結 果

- ① 殺菌線透過率は布の材質ならびに織方により異なっていた。ガーゼ 52 %、天竺木綿 2 %という風に。
- ② 布上の菌を殺菌する時間を菌別に測定し得た。
- ③ 布を重ねた場合の下布の効果について測定し得たので、市販殺菌箱の効用についての基礎知識を得た。

B-18 紫外線殺菌灯利用にあたっての研究 第 3 報 布えの応用（その 1）

東京家政大 ○神野 節子
伊藤 一美

研究の目的

各種布の殺菌線透過率と、殺菌線応用に関する報告を